

No.	対象		訪問診療 実施	質問項目
	病院	診療所		
1	○	○	A	社会保険診療等の状況
2	/	○	A	開設期間、場所等
3	○	○	A	開設者
4	○	○	A	診療科目
5	○	/	A	地域包括ケア病棟の有無
6	○	○	B	訪問診療の実施状況、対応時間数
7	/	○	B	在宅専門診療所か否か
8	○	○	B	在宅療養支援病院・診療所の届出状況 ★種別（単独型、連携型、従来型）
9	○	○	B	【Q7で届け出していない診療所】 届け出していない理由
10	○	○	B	【Q7で届け出ている診療所】 在宅緩和ケア充実加算、在宅療養実績加算1・2の算定状況
11	○	○	B	2025・2040年時点の在宅医療提供体制
12	○	○	B	訪問診療を担当する医療従事者等の人数
13	○	○	B	医師の年齢
14	○	○	B	訪問診療を行った患者の実人数
15	○	○	B	訪問診療での末期がん対応
16	○	○	B	訪問診療で対応可能な医療行為
17	○	○	B	訪問診療での対応可能範囲（区市町村）
18	○	○	B	訪問診療での地理的対応基準（おおむね〇kmまで対応可）、 交通手段
19	○	○	B	1か月間の休日夜間の患者家族からの連絡対応件数
20	○	○	B	過去1年間の緊急入院が必要となったケースの状況
21	○	○	B	【病院・有床診】 病状変化時等の入院の受入れ状況
22	/	○	B	連携機関の有無（病院（←所在する区市町村も）、有床診療所、無床診療所、在宅支診、訪看、その他）
23	/	○	B	夏休みや年末年始の対応の工夫
24	○	○	B	訪問診療に関する知識・技術の習得方法
25	○	○	B	過去1年間の看取り数
26	○	○	B	看取りを実施していない理由
27	○	○	B	ACPの実践状況
28	○	○	B	ACPを実践していない理由
29	○	○	B	小児在宅医療対応状況
30	○	○	B	小児在宅医療のうち、対応可能な医療行為
31	/	○	B	小児在宅を実施していない理由
32	○	○	B	在宅療養の利用者等からの暴力行為の有無
33	○	○	B	在宅療養の利用者等からの暴力行為への対応策

No.	対象		訪問診療 実施	質問項目
	病院	診療所		
34	○	○	B	災害対策の実施状況（BCPの策定含む）
35	○	○	B	災害対策を講じていない理由
36	○	○	B	在宅医療を充実させるために必要だと思うもの
37	○	○	B	訪問診療体制に余力があるか
38	○	○	B	【病院】退院前合同カンファレンス（退院時共同指導）の実施状況、 【診療所】出席状況 ★【病院】実施しない理由
39	/	○	C	訪問診療を実施していない理由
40	○	○	C	訪問診療を始めるきっかけ
41	○	○	C	将来の在宅医療の提供予定
42	○	○	A	往診の実施状況
43	○	/	A	在宅療養患者への後方支援
44	○	○	A	往診に対応できる時間帯
45	○	○	A	地域医療連携ネットワーク
46	○	○	A	地域における医療介護連携システム（ICT）等の活用状況

A(10項目)：現在訪問診療を実施している医療機関・実施していない医療機関共通の回答項目

B(33項目)：現在訪問診療を実施している医療機関の回答項目

C(3項目)：現在訪問診療を実施していない医療機関の回答項目